

「ヤンゴン配電網改善事業（フェーズ1）」コンサルティング業務の概要

1 実施地域

ミャンマー連邦共和国 ヤンゴン市

2 実施期間

2018年3月～2022年5月（約4年3か月）

3 コンサルティング業務の内容

66kV 配電用変電所の増強、11kV 配電線の拡充および作業用特殊車両の導入等、配電網の改善に関する詳細設計、工事の入札手続き、調達支援、施工監理および技術移転等

4 プロジェクトの背景

経済発展に伴い、ミャンマーの電力需要は2012年の約200万kWから2017年には約300万kWへと増大しており、今後も高い伸びが見込まれている。しかしながら、設備の老朽化による、発電設備の出力低下や、送配電設備故障の多発、配電損失の増加等が電力の安定供給確保に大きな影響を与えており、電力設備の整備が課題となっている。

5 事業エリアマップ

